



口之津小学校 学校だより

希望の丘から

希望の丘で本物の口之津っ子を育てます。

令和5年7月20日

5年度 第7号

校長 本村 英治

学校だより「希望の丘から」タイトルは、校歌の歌詞「希望の丘の学舎は」から採用しました。口之津っ子の成長をお伝えしていきます。

進んで取り組んだ1学期 終業式

第1学期の終業式を行いました。4月の始業式では、子どもたちに特にがんばることとして、3つの項目を確認していました。

(1) **進んであいさつ・返事**は、児童会の取組を中心として、子どもたちががんばった姿の一つです。このことを通して、口之津っ子の心を育てることと、地域の皆様の元気につなげたいと考えています。

(2) **進んで学ぶ**については、子どもたちの授業での姿が、少しずつ「進んで」に向かっていますが、さらに努力したい項目です。県学力調査の結果については、概ね良好な結果となりました。子どもたちのがんばりが結果となっています。

(3) **新しい生活習慣**は、感染症への新しい対応策を定着させてきました。校内での拡大は防ぐことができ、授業時数を確保して、学びの保障ができています。

主体的な授業への改善や運動会や社会科見学等の行事、タブレットドリルへの移行など、**新しい教育活動に対しても進んで取り組んできた口之津っ子は、確かに成長しています。**一人一人の詳細は、本日お渡しした「あゆみ」や24日らの保護者面談にてお伝えします。

長い夏休みは、口之津っ子が家庭・地域に帰ります。感染症や交通事故、水の事故に留意して、子どもたちにとって有意義な夏になるようお願いします。



C・Sだより④ 白浜海岸造形まなび

7月14日(金)、1・2年生合同の砂の造形校外学習に白浜海岸へ出かけました。海岸は水の事故のリスクがあるため、教職員の引率も増員しましたが、保護者や婦人会のお力もお借りして、安全に学習活動を行いました。

地域の宝である白浜海岸のすばらしさを造形活動を通しながら学び、また婦人会の皆様との交流もしながら、楽しく活動ができました。

グループごとに作りたいものをメンバーと話し合いながら、白浜を満喫して楽しんでいました。

子どもたちからは「見守っていただき、ありがとうございました。」と感謝の声もありました。

おかげさまで、安全に学習ができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。今回は、白浜ビーチホテル様にも駐車場の御協力をいただきました。感謝申し上げます。



C・Sだより⑤ 口加高校生と防災学習

7月18日(火)に口加高校生との防災学習を行いました。今年度の県指定研究である「ふるさと教育」は、小・中・高の系統性をもったカリキュラム開発が中心です。そのため校種間の交流学习の必要性を感じています。今回は、口加高校の方から提案していただき、1学年64名の高校生が口之津小学校を訪問し、学んだ内容を小学生に教えてくれました。



高校生は最初は緊張していたものの、小学生の反応があると緊張も取れ、紙芝居形式やクイズ形式などで楽しませながら防災の大切さを教えてくれました。授業後、高校生から「楽しかった」「自分たちもあんなだったのかなあ」との感想が聴かれ、交流の良さを感じられる学びになったようです。年齢の差はありましたが、すぐになかよくなって別れを惜しんでいました。

人に伝えることは、難しいことです。しかし、今後、人に伝えるという機会が多くなり、その重要性は増していきます。高校生は、自分たちなりに工夫してチャレンジしていたところがすばらしかったです。その姿を見ていた口之津っ子は、きっと多くのものを得て、自身の学びに生かしていくと思います。

夏季休業中の主な予定

7月22日 警察のお仕事体験会
マリンフェスタ
24日～保護者面談(28日まで)
25日 通学路合同点検
社明運動 中学生弁論大会
8月1日 交通安全子供自転車
長崎県大会

8月5日 市PTA家庭教育講演会
8月9日 全校登校日・平和集会
10日～学校閉庁期間(15日まで)
20日 家庭の日
21日 全校登校日
26日 PTA除草作業
(7時30分～)
9月1日 第2学期始業式

事故から子どもの命を守る 大人の見守る目が頼りです

今年めざす本物の姿の中に、「事故から自分の命を守る」があります。自分で危険を回避して自分の大切な命を守るということです。子どもたちは、それを今学んでいます。学ぶことにはうまくいかないことや、やり直しが必須ですが、このことだけは失敗が許されません。

10年以上前のことになりましたが、私が離島で教頭を務めていた時、自校の子どもが海水浴場で溺れて、大切な命をひとつ失いました。保護者や子どもたちをはじめ、学校の喪失感は相当なもので、悲しみが学校を包み込んだことを覚えています。その時は、保護者が海水浴場に子どもたちを連れて行ったのですが、その後、保護者がその場を離れた時に、驚くほど静かにその事故は起きたとのことでした。搜索の様子を見守りましたが、数時間後上がってきたその子の姿を直視できなかった気持ちを忘れられません。

明日から楽しい夏休みです。楽しいには大前提があります。それは「安全」です。「昔はここで遊びよったもんね」「そこは自分たちで行きよった」はもう通用しません。大切な子どもの命を守るためには、大人の見守る目が欠かせません。子どもたちが、様々な体験をする夏休みです。真に楽しい夏休みにするために、どうか大人の見守る目を忘れないでほしいと思います。

